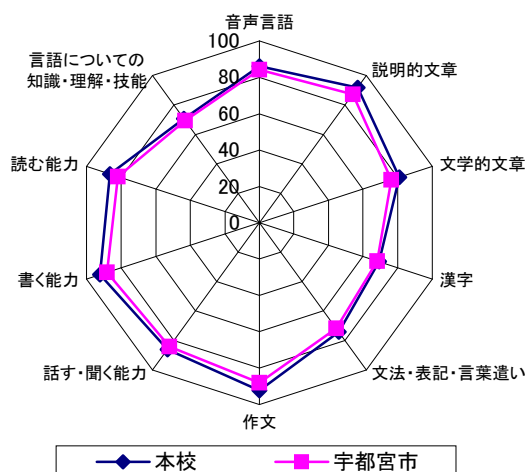


宇都宮市立豊郷中学校第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

| | | 本年度 | |
|-----|-----------------|------|------|
| | | 本校 | 宇都宮市 |
| 領域別 | 音声言語 | 86.0 | 84.1 |
| | 説明的文章 | 91.9 | 87.3 |
| | 文学的文章 | 81.0 | 76.3 |
| | 漢字 | 69.2 | 68.1 |
| | 文法・表記・言葉遣い | 74.2 | 71.8 |
| | 作文 | 92.3 | 88.0 |
| 観点別 | 話す・聞く能力 | 86.0 | 84.1 |
| | 書く能力 | 92.3 | 88.0 |
| | 読む能力 | 86.5 | 81.8 |
| | 言語についての知識・理解・技能 | 70.8 | 69.4 |
| | | | |



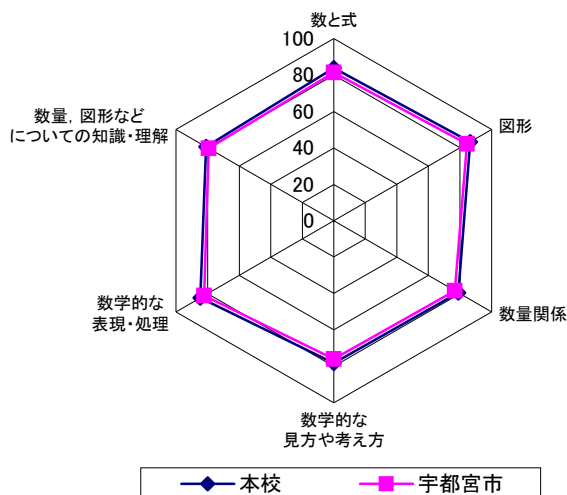
★指導の工夫と改善

| 領域 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|-----------------------|--|---|
| 音声言語 (86.0%) | ・正答率が80%を超えており、宇都宮市の正答率を上回った。昨年度までは正答率が90%を超えていたことから考えると本年度はやや低調であるといえる。 | ・今後も目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を身に付けさせるとともに、話し言葉を豊かにしようとする態度を育て、伝え合う力の育成に力を入れていきたい。 |
| 説明的文章 (91.9%) | ・昨年度の正答率を大きく上回り、宇都宮市の正答率と比べても上回っている。昨年度までは6つの領域中、一番平均正答率が劣っている分野であったことを考えると、本校国語科教育における最重要課題と考え取り組んできた成果が現れたのではないだろうか。 | ・読むことのできる能力をさらに高めるため、書き手の論理の展開の仕方等を的確にとらえるとともに、内容の理解や自分の表現に役立てる力を育てていきたい。 |
| 文学的文章 (81.0%) | ・昨年度同様、平均正答率が80%を超えており、おおむね良好な結果が得られているといえる。 | ・今後も読むことのできる能力を育成するため、文学作品における表現の仕方や文章の特徴に注意して読む力を育てていきたい。 あわせて朝の読書が充実した時間となり、読みことに抵抗がなくなるよう指導していきたい。 |
| 漢字 (69.2%) | ・宇都宮市の正答率を上回ってはいるが、昨年の正答率から比べると大きく低下してしまった。 | ・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができるよう指導していきたい。 あわせて、小学校で学習済みの漢字については書くことにおいて正しく使えるように指導していきたい。 |
| 文法・表記・言葉遣い (74.2%) | ・宇都宮市の正答率は上回ったものの、昨年度に引き続き正答率が80%を下回ってしまった。 | ・国語の授業におけるさまざまな場面で、慣用語、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句の意味や用法に注意するよう指導していきたい。 また、抽象的な概念などを表す多様な語句についての理解を深め、語感を磨き語彙が豊かな生徒を育てていきたい。 |
| 作文 (92.3%) | ・本年度は平均正答率が90%を超え、昨年度の平均正答率を上回っており、おおむね良好な結果が得られたといえる。 | ・書くことのできる能力をさらに育成するため、広い範囲から課題を見付け、必要な材料を集めるとともに、自分の立場や伝えたいことを明確に表現する力を育てていきたい。 あわせて書くことに対する抵抗感をなくすよう、短時間で作文を書き上げることを指導に取り入れていきたい。 |

宇都宮市立豊郷中学校第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

| | | 本年度 | |
|-----|-------------------|------|------|
| | | 本校 | 宇都宮市 |
| 領域別 | 数と式 | 83.8 | 81.5 |
| | 図形 | 86.5 | 84.3 |
| | 数量関係 | 78.9 | 76.8 |
| 観点別 | 数学的な見方や考え方 | 78.3 | 76.0 |
| | 数学的な表現・処理 | 84.7 | 82.3 |
| | 数量、図形などについての知識・理解 | 80.9 | 79.2 |
| | | | |



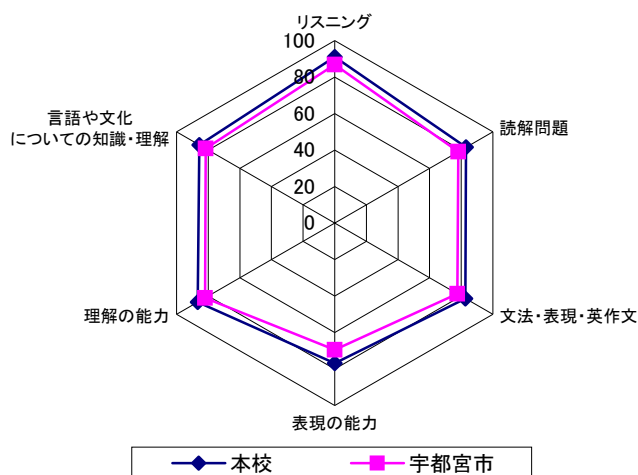
★指導の工夫と改善

| 領域 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|-----------------|---|---|
| 数と式 (83.8%) | この領域の平均正答率は、宇都宮市の平均と比較して2.3%上回る結果であった。 「式の展開」や「因数分解」の計算問題では、90%以上の正答率であり、十分に理解している生徒が多い。 | この領域の授業では、習熟度別学習とチームティーチングによる指導で、繰り返し計算練習を行ったので正答率が高い。 今後も習熟度別学習とチームティーチングによる指導を効果的に取り入れて、基礎基本の徹底を図っていく。 |
| 図形 (86.5%) | この領域の平均正答率は、宇都宮市の平均と比較して1.2%上回る結果であった。 「三角形の相似の証明」では、96%以上の正答率であり、「平面図形」についての基礎基本が確実に身についた生徒が多い。 | 図形問題では、2年生で学んだいろいろな図形の定義や定理を復習させることが大切なので、折りに振れ押さえていく。さらに、3年生の内容を確実に覚えさせたい。その上で、図形の証明問題は穴埋めから全記述へと段階を追って指導していく。 |
| 数量関係 (78.9%) | この領域の平均正答率は、宇都宮市の平均と比較して2.1%上回る結果であった。 「2乗に比例する関数の変域」を求める問題の正答率は低かったが、「2乗に比例する関数の利用」は比較的高かった。 | 関数は難しいという思いを持つ生徒が多いので、実生活に則した例題を用いて指導していく。その中で関数の用語等確実に理解させる。生徒の実態に合わせ、丁寧な指導を心がけていく。 |
| | | |
| | | |
| | | |

宇都宮市立豊郷中学校第3学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

| | | 本年度 | |
|-----|-----------------|------|------|
| | | 本校 | 宇都宮市 |
| 領域別 | リスニング | 91.0 | 86.9 |
| | 読解問題 | 83.0 | 78.2 |
| | 文法・表現・英作文 | 82.7 | 77.6 |
| 観点別 | 表現の能力 | 76.8 | 69.5 |
| | 理解の能力 | 86.6 | 82.2 |
| | 言語や文化についての知識・理解 | 85.6 | 81.6 |
| | | | |



★指導の工夫と改善

| 領域 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|----------------------|--|---|
| リスニング (91.0%) | 市の平均と比べると、4.1ポイント高い結果となっている。英語活動や対話練習から、聞く力が身につけていると考えられる。 | 今後も様々な会話活動を授業に取り入れていきたい。また、ALTと生徒が触れ合う場を多く設けていきたい。洋楽や洋画などといった、生活に身近なものにも触れる機会を多く持たせたい。 |
| 読解問題 (83.0%) | 市の平均と比べると、4.8ポイント高い結果となっている。読解に必要な語彙力もついてきており、文章を理解する力が向上していると考えられる。 | 語彙については、定期的に単語テストをするなどし、引き続き定着を図っていきたい。また、様々な種類の文章を読ませ、わからない語彙も文脈から読み取る練習をさせていきたい。 |
| 文法・表現・英作文 (82.7%) | 市の平均と比べると、5.1ポイント高い結果となっている。進んで英作文を書こうとするが、正しい文を書かなければならないと、表現に対して苦手意識を持っている生徒が多い。 | 英語の語順に慣れさせ、穴埋め問題や並べ替え問題などの反復練習で文法に対する苦手意識を取り除いていきたい。英作文は英文日記を書くなどし、身近なものについて書くことから指導していきたい。 |
| | | |
| | | |
| | | |